

平成26年度

大阪市教育局「学校教育ICT活用事業」モデル校

公開授業・研究協議会 資料

平成26年6月14日（土）

大阪市立昭和中学校

参観者の皆さまへ

本日は、本校の公開授業にお越しいただき、ありがとうございます。

参観にあたって、次の点にご留意ください。

1. 授業も含めて、**校内の写真撮影・ビデオ撮影**は、次の点をお守りいただくことを前提に許可します。
 - 撮影した写真や動画は、個人または、所属する機関での研究目的にのみ使用すること。
 - 子どもや教職員が特定できる写真や動画を、ネット上にアップしないこと。これについては、いかなる理由があっても許可できません。
 - 授業風景を動画配信サイトなどにアップしないこと。
 - 教室内の作品についても、個人が特定される原因となりますので、同じ扱いとさせていただきます。

※ 撮影された被写体に係る肖像権に関しては、本人並びに本校に属しております。
注意事項に反し、または非社会的な目的に利用された場合は、法的な手段により取り下げを要求します。
2. 授業中にむやみに子どもに接近するなど、子どもの注意力を阻害するような行動はお控えください。
3. 教室はたいへん混み合います。入口付近に固まらず奥にお進みください。
4. 携帯電話はマナーモードにしてください。
5. 授業中、ICT 機器などが動作不良になった場合、指導者の判断で使用を中止し、授業をすすめる等もありますので、ご理解ください。
6. 休み時間等では、子ども達の動線にお心遣いください。

平成26年度 大阪市教育局「学校教育ICT活用事業」モデル校

公開授業・研究協議会のご案内

初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では次のとおり公開授業を実施いたします。何かとお忙しいとは存じますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1 日時 平成26年6月14日（土） 午前9時00分～12時00分
（受付 午前8時45分から）

2 会場 大阪市立昭和中学校
大阪市阿倍野区桃ヶ池町2-3-17 電話 06-6621-0051
・地下鉄谷町線「田辺駅」下車 南西へ500m
・JR阪和線「南田辺駅」下車 北へ150m

3 時 程

午前8時45分	9:00	9:50	10:10	12:00
受付	公開授業	移動休憩	全体会	
			研究協議	指導講評

4 教科・授業者

学級	教科	内容	ICT活用のポイント
1年1組 教室	英 語 川 渕	リスニングとリーディングの練習	録画機能・録音機能を利用したリスニングとリーディングの練習と相互評価
1年2組 教室	数 学 坂根・井上	文字の式	マーキング機能を使って思考を深め、自分の考えを伝える
2年1組 教室	技 術 杉村	キノコの観察記録	観察記録の発表と Schoology を利用した相互評価
2年2組 教室	国 語 植田	「鳥獣人物戯画」をよむ	デジタル化された資料（非連続型テキスト）を読み解き、ものの見方を深める
3年1組 教室 (理科室)	総 合 増本	手話を通して学ぶ	役割別の手本動画を使用した個人練習と班別練習と録画による表現の確認
3年2組 教室	総 合 西	バリアフリーを考える	Schoology のディスカッション機能を利用した意見交流

5 指導助言

・和歌山大学 准教授 豊田 充崇 先生

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☒ まとめ
I C T 活 用 者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☐ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☐ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☐ 自分の考えを表現する ☒ 学習の振り返り ☒ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・ <u>Pad</u>) ☒ 児童・生徒用(win・ <u>iPad</u>) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	☐ カメラ機能
ICT 活用のポイント	☐ 自分の発音・発声を録音して客観的に聞く。 ☐ カメラ機能を使って、発音している口の形を客観的に見る。 ☐ ペアの会話の様子を録音し、スピーチコンテストを行う。

第1学年 英語科 学習指導案

授業者 川淵和彦
エイミー

1 学年・組 1年 1組

2 単 元 名 リスニングとリーディングの練習と相互評価

3 目 標

- 初歩的な英語を用いて、話し手の意向などを理解できるようにする。
- 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。
- 初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
○間違えることを恐れず積極的に言語活動に取り組んでいる。	○正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。	○強勢やイントネーション、区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。	○発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 ○基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 ○基本的な区切りについて理解している。

5 指導計画（全3時間）

時	主 な 学 習 活 動	ICT 機器
1	個人での練習 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話す。	iPad AppleTV 電子黒板
2	ペアでの練習 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて、積極的に会話に取り組む。	iPad AppleTV 電子黒板
3	ペアでの発表 全ペアの会話を聞き、基準に従って採点、投票。 ベストペアの選出	iPad AppleTV 電子黒板

6 本時の学習

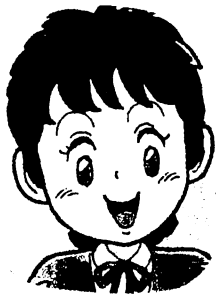
(1) 目 標

○強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、他者の音声を聞いて比較し、自分のリーディング力のスキルアップを目指す。

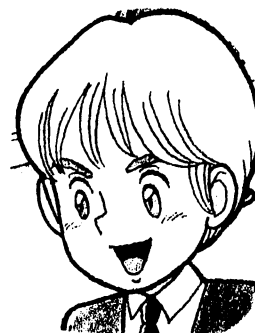
(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	口元をアップにして録画しながら、C-NETと会話文を一斉練習。	- 録画することで、正しい発音と自分たちの発音を聞き比べることができる。 - 動画で客観的に自分の口元を確認できる。	i P a d カメラ機能	【関心・態度・意欲】 間違えることを恐れず積極的に言語活動に取り組んでいる。
展 開	- ペアになって練習。 - ペアでの会話の音声を録音し、グループフォルダに提出。 - 全ペアの会話を聞く。 - 他のペアのスピーチを以下の基準で評価する。 声の大きさ 英語らしさ 表現力 - 投票する。	提出する時、先入観なく客観的に発音を評価するため音声のみを録音。	i P a d AppleTV 電子黒板 カメラ機能 SKYMEN U（音声メモ・投票）	【技能】 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。
ま と め	- ベストペアを発表する。 - ベストペアの表彰。 - 先生からの評価、コメント。	ベストペアのスピーチを全体に流す。	i P a d AppleTV 電子黒板 SKYMEN U（ビューア）	【知識・理解】 ベストペアのスピーチを聞き、自分たちとの対比をすることによって今後の言語活動に活かす。

Dialogue Presentation!



Yuki



Mike

Hi Mike!

Hi, Yuki!

Do you play soccer?



No. I don't.
I don't play soccer.

What sports do you play?

I play baseball!



大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☐ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☐ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導入 ☒ 展開 ☒ まとめ
ICT 活用者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☒ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他(AppleTV)
活用コンテンツ	☐ デジタル教科書 ☐ デジタル・ワークシート
ICT 活用のポイント	iPad で試行錯誤することにより考えを深める。 iPad を使って、自分の考えをわかりやすく伝える。 iPad を使って効率的に発表し、共有することができる。

第1学年 数学科 学習指導案

授業者 坂根 眞一郎
井上 昇

1 学年・組 1 年 2 組

2 単元名 「文字の式」

3 目 標

文字を使って、数量や数量の関係などを簡潔、明瞭に、しかも一般的に表すことを通して、文字を用いることのよさや必要性に気づく。また、表された式を読んだり、式を計算したりすることを通して、文字の式を利用するための基礎的な技能を身につける。そのために、

ア. 文字を使って、数量や数量の関係などを式に表し、文字の必要性和意味を理解する。

イ. 文字を使った式の表し方を理解し、それに基づいて式に表したり、表された式の意味を読み取ったり、文字に値を代入して式の値を求めたりして、文字の式の理解を深める。

ウ. 簡単な式の加法と減法の計算ができるようにする。また、式に数をかけることや式を数でわることができるようにする。

エ. 数量の関係を等式や不等式に表すことができるようにする。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技 能	知識・理解
画用紙の枚数とマグネットの個数の関係を文字式に表そうとしている。	具体的な場面で、式が表す数量の関係を読みとることができる。	個数や代金などの数量を、文字を使って表すことができる。 一次式の計算ができる。	文字を用いることの必要性や意味を理解している。

5 指導計画（全 17 時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	数量を文字で表すこと	電子黒板 ノート PC i P a d AppleTV
2	文字式の表し方	
3	式の値	電子黒板 ノート PC
4	文字式の加法、減法（本時）	電子黒板 ノート PC i P a d AppleTV
5	文字式と数の乗法、除法	
6	関係を表す式	i P a d AppleTV

6 本時の学習

(1) 目 標

- マグネットの個数を求めることに関心を持ち、その関係を式に表そうとする。
- 自分の思考の過程を表現し、他者に的確に伝達できる。
- 文字式から事象の数量やその関係を読み取ることができる。
- わかったことや気づいたこと、友達の考えなどをまとめることができる。

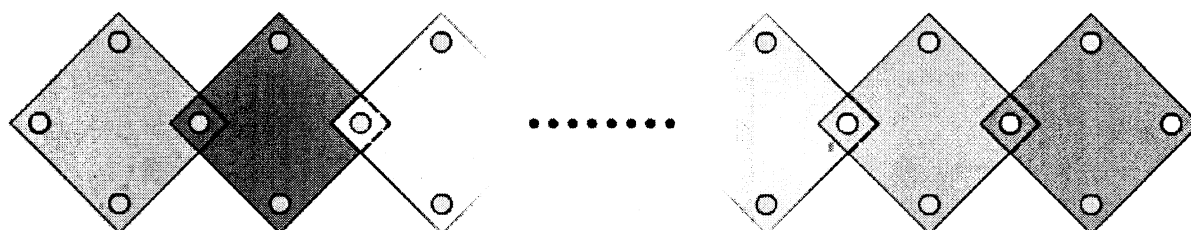
(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○以前扱った画用紙の課題を思い出す。 ○教科書の課題を確認し、実際に黒板に画用紙をマグネットでとめる様子を見せる。 ○マグネットの個数を文字を使って表すことを考える。 予想をワークシートに書き込む	・デジタル教科書を使って提示する。	電子黒板 デジタル教科書	【関心・意欲・態度】 画用紙の枚数とマグネットの個数の関係を文字式に表そうとしている。
展 開	○エキスパート班になって、班ごとの課題 A～C に取り組む。 文字式が表す意味を考え、自分の考えを他の班員に説明する。 ○班員全員が、自分の班の式が表す考え方を説明できるようにする。 ○ジグソー班になって、もとの班の課題の式の意味について説明する。 ○マグネットの数え方によって、いろいろな式ができることに注目し、その意味と考え方を理解する。	・班について電子黒板で指示する。 ・班ごとに違った教材を円滑に配布できる。 ・i P a dを使って、試行錯誤する。 ・マーキングしながら、自分の考えを他の班員に的確に伝える。	電子黒板 iPad 効化ユー (マーキング)	【技 能】 マグネットの個数を文字を使って表すことができる。 【数学的な考え方】 画用紙の枚数とマグネットの個数の数量の関係を文字式から読みとることができる。

	○友達のことを読み取ったり、他の考え方やより良い考え方をみいだそうとする。 ○全体で、代表が課題 A～C の考え方を発表する。 その際、説明する生徒とマーキングする生徒を分けて、わかりやすく説明することを意識する。	・ iPad を活用することで、いくつかの発表を、効率的に行うことができる。	電子黒板 iPad 効イユ (マーキング)	
まとめ	○同じものの個数がいろいろな式で表されることを見出し、それらが計算すると1つの式で表すことができることを知る。 ○本時で分かったことや気づいたことを、自分の言葉でノートにまとめる。	・ ノートに書いたことを、iPad 撮影し、全員に見せることにより共有する。	iPad	【技 能】 一次式の計算ができる。 【知識・理解】 文字を用いることの必要性や意味を理解している。

<資料>

どのように考えたのかな？



予想： $3x+1$

課題A： $x+(x+1)+x$

課題B： $4x-(x-1)$

課題C： $2+(x-1)+2$

その他： $3(x-1)+4$

$(x+1)+2x$

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☐ 個別学習
ICT 活 用 の 場 面	☐ 導 入 ☒ 展 開 ☒ まとめ
I C T 活 用 者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活 用 の 目 的	☐ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☒ 自分の考えをまとめる ☐ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☒ プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活 用 コ ン テ ン ツ	☐ 生徒が作成した栽培・調理実習等の記録（Keynote） ☐ ディスカッション掲示板（Schoolology）
ICT活用のポイント	☐ キノコの栽培・調理実習等の記録をプレゼンテーションソフト（Keynote）で作成し、ディスカッション掲示板（Schoolology）を使って発表し、生徒同士で相互評価をする。

第2学年 技術科 学習指導案

授業者 杉村 浩司

1 学年・組 第2学年 1組

2 単 元 名 キノコの栽培・ソフトウェアの機能と情報の処理

3 目 標

○作物の栽培を通して、生物の育成に適する条件及び育成環境を管理する方法を知らせ、社会や環境とのかかわりから、生物育成に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する。

○操作技術の習得をとおして、コンピュータの利用形態を知り、身近な課題に応じた応用ソフトウェア選択し、基本的な情報の処理ができる。

4 単元の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
・きのこが他の作物との違いを知り、栽培に適した生育の条件を理解する。	・きのこの生育に応じた条件を明確にし、適切な管理方法を決めることができる。	・条件に応じた管理作業ができる。	・キノコが生活に役立っていることを知り、菌類が光合成をおこなわず、分解者として働いていることを知る。
・Keynoteについて、その特徴を生かした操作をしようとしている。	・Keynoteの特徴を生かして、文書、写真などのレイアウトが工夫できる。 ・プレゼンテーションソフトの使い方やその操作方法に関する知識を身につけている。		・プレゼンテーションソフトの基本的機能とその用途について身につけている。

5 指導計画（全 10 時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT機器
1	菌類としてのキノコについて	電子黒板
2	いろいろな食用キノコについて（採取および人工栽培）	電子黒板、ノートPC
3	人工栽培の方法について（菌床栽培と原木栽培について）	電子黒板、DVDプレーヤー
4	ブナシメジ、エリンギの菌床栽培の実習および記録（iPad使用）	電子黒板、iPad
5	収穫および調理実習（キノコパスタ）	iPad
6	引き続き家庭での栽培および調理	iPad
7	Keynoteを使って栽培記録・調理実習のプレゼンテーション資料を作成	電子黒板、iPad
8	栽培記録・調理実習のプレゼンテーションのグループ発表および相互評価	電子黒板、iPad
9	[本時] 栽培記録・調理実習のプレゼンテーションのクラス発表および相互評価	電子黒板、iPad
10	自分のプレゼンテーションについての自己評価および振り返り	電子黒板、iPad

6 本時の学習

(1) 目 標

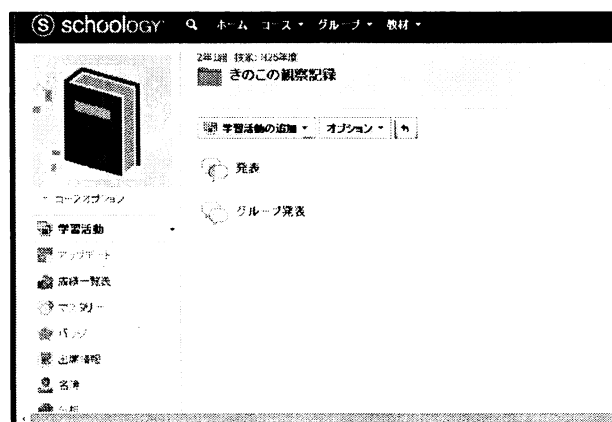
○キノコの栽培を通して、キノコの育成に適する条件や育成方法を知らせ、キノコの利用方法を工夫し、食材としてのキノコがいかにかに有用であるかを理解する

○栽培や調理実習等の記録を通して、文書や図形の処理ができ、必要なプレゼンテーションを行うことができる。

(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	・いままで行ってきたことを再確認する。 ①キノコ栽培について ②調理実習について ③家庭での栽培・調理について ④グループでの発表結果と代表者について	・前もって生徒のKeynoteのファイルをpdfに変換し、iBooksにアップロードをしておく	・電子黒板 ・iPad 1人1台	【関心・意欲・態度】キノコおよびその栽培について特徴を理解している。
展	・iWorkで個人のpdfファイルを見て、どのようにキノコの栽培・調理について書かれているかを理解させる。。 ・Schoologyの「グループ発表」に代表者の名前があるかを確認させる。	・前の時間にSchoologyに前もって、タイトルのみの画像とコメントをアップしておく。	・電子黒板 ・iPad ・Schoology ・iWork ・AppleTV	【工夫・創造】 【技能】 ・Keynoteの特徴を生かして、文書、写真などのレイアウトが工夫できる。

開	・グループの代表者が前に出てきて、発表をする。 ・Schoolology の「グループ発表」に、うまく作品ができていたら、コメントを書き、[いいね]を押すように指導する。 ・コメント（評価）のポイント ○内容について ①きのこがうまく成長しているようすがわかる。 ②調理実習の料理やそのようすが表現できている。 ③家庭での料理がユニークでおいしそう ○プレゼンテーションについて ①プレゼンテーションがうまくまとめられているか、声は出ているか。 ②画像や言葉がうまく使えているか。 ③プレゼンテーションソフトをうまく使っているか。	・発表時にはiPadは閉じておく。 [いいね]を押せば、必ずコメントを書くようにする。		【技能】 ・キノコの栽培についてその条件に応じた管理作業ができている。
まとめ	・[いいね]が多かった作品について、電子黒板で表示をする。 ・他の人の作品を見て、自分の改良点を考える。次の時間に自分の作品の振り返りを行うことを連絡する。 ・SNSの特徴や利用の方法について知らせる。		・電子黒板	【知識・理解】 ・プレゼンテーションソフトの基本的機能とその用途について身につけている。 【関心・意欲・態度】 ・ネットワーク技術について関心を持っている。



大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他 ()
授業形態	☐ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導入 ☒ 展開 ☒ まとめ
ICT 活用者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☒ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☒ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☒ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(iPad) ☒ 児童・生徒用(iPad) ☒ その他(Apple TV)
活用コンテンツ	☐ 朝日新聞デジタル for school ☐ Apple TV ☐ SKYMENU ☐ iPad ☐ note Anytime ☐ 「鳥獣戯画」
ICT 活用のポイント	☐ 朝日新聞デジタル for school により、情報を収集する。 ☐ 「鳥獣戯画」を活用し、右から左へ、絵巻物の感覚でよむ。 ☐ SKYMENUを活用し、マーキングをする。 ☐ note Anytime により、全体をつかむ。

第2学年 国語科 学習指導案

授業者 植田 恭子

- 1 学年・組 大阪市立昭和中学校 2年2組 (男子 19名・女子 15名 計 34名)
平成 26 年 6 月 14 日 (土) 第 1 時限 9:00~9:50

- 2 単元名 「鳥獣人物戯画」をよむ

3 目 標

○高度情報社会における「よむ」ことを自覚化し、多様なテキストを読み説き、得た情報を共有し、ものの見方や考え方を深める。

○テキストとの対話を通して、自己と向き合い、自分の言葉で表現することの大切さを感じとり、日常の言語生活に活かす。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
絵巻物について関心をもち、自分の考えを交流しようとしている。	目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して、対話することができる。	書いた文章を互いに読み合い、表現の仕方などについて意見を述べたり助言したりして、ものの見方や考え方を深めようとしている。	全体と部分の関係、描写の効果や登場人物の意味などを考え、内容を読み説こうとしている。	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、作品世界を想像することができる。

5 単元の指導計画

PISA調査によって「連続型」の言語テキストだけでなく、図や表などの「非連続型テキスト」が注目されるようになった。学習指導要領の言語活動例には、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべての領域で「図表」「絵・写真」「画像」が取り上げられている。

翻って、高度情報社会において「よむこと」のありようも多様化してきた。学習者を取りまくメディア環境の変化も著しい。日常的にインターネットのWeb ページや携帯サイトからの情報を活用、さらには共有化し、情報社会における光の部分を楽しんでいる。このような学習者を取りまく状況を踏まえ、

主体的にさまざまな情報と向き合い、情報を読み解く力を育成するために、中学3年間の国語科のカリキュラムに情報リテラシーを育成する単元を位置づけている。「21世紀型スキル」の育成を視野に入れたカリキュラムである。

対象学年（2年）の1年時の「国語教室びらき」では、よむことを意識させることからはじめ、教科書の表紙をよみ、そこから物語を創作する、「絵本」をよむ、「写真」をよむなどの単元を展開した。

2年生になってからは、多様なよむことのひとつとして、新聞の全面広告を核に「広告」よむという単元に取り組んだ。

本単元と関連する単元 「広告」をよむ 2年1学期

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	広告の言葉について考える ・「広告の言葉」とは何か。 ・「そうだ 京都、行こう」（JR 東海 1993 年～）について考える。 「そうだ」という言葉… 「何か忘れていたことをハッと思い出したときによく使うことば」 「ぼくら日本人が物質的繁栄ばかりを追いかけてきて、大切な何かをどこかへ忘れてきてしまったんじゃないか、という思いが「そうだ」ということばにこめられている。」（天野祐吉「NHK 日本語なるほど塾」2004 年 7 月） ・JR 東海の Web ページを読む。 ・「キャッチコピー」とは何かを知る。 ・「アイドマの法則」について知る。	iPad Apple TV 電子黒板
2	キャッチコピーを作る ・広告をつくる。お茶の写真にキャッチコピーをつける。 ・私が考えた お茶のキャッチコピーを伝え合う。 ・自作のキャッチコピーを解説する。 ・グループで伝え合い、代表作品を決める。 ・みんなでシェアする。 ・広告大賞を決める。	iPad Apple TV 電子黒板
3	広告を読み解く（新聞広告をよむ） 「ありがとう、徳島。」（2014 年 3 月 8 日土曜 徳島新聞）全面広告 今日、J1 の舞台で、もう一度徳島のみなさんと 出会い、闘えることを楽しみにしています。 徳島のみなさんが応援してくれていたから、…… 柿谷曜一朗 ・印象に残っている広告を伝え合う。 ・広告から受けた印象を伝え合う。 ・広告を言葉で説明する。 ・広告の中の情報（設定）を言葉で表現する。 ・キャッチコピーを読み解く。 ・広告のターゲット（想定するターゲットは誰か。）を考える。 ・広告としての効果は何かを考える。	iPad Apple TV 電子黒板
4	広告の送り手になる ・「絵くんとことばくん」たくさんのふしぎ傑作集 福音館書店 （作 天野祐吉 絵 大槻あかね）読み聞かせをする。 小学 4 年生の「ぼく」の現在のおこづかいは 500 円。1000 円にアップしてもらうために、ポスターをつくり、お母さんにうったえようと、あれやこれやたくさんのポスターを作る。…… ・昭和中学校の Web ページを読む。	iPad Apple TV 電子黒板

	・校舎の画像を取り込み、昭和中学校を PR するキャッチコピーをつける。 ・キャッチコピーをシェアする。	
5	広告の効果、作り手の意図を考える（公共広告をよむ） ・広告のいろいろについて、伝え合う。 ・ちらし広告の工夫を考える。 ・公共広告とは何か。 ・AC ジャパンの広告について、どのような意味をもっているか。何を伝えたいのかを考え、意見を交換する。	iPa d Apple TV 電子黒板
6	公共広告を作る ・公共とは何かを知る。 ・社会の問題点を考える。 ・市民としてできることは何かを考える。 ・公共広告を作り、発信する。	iPa d Apple TV 電子黒板

単元の指導計画 「鳥獣人物戯画」をよむ（全9時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	「鳥獣人物戯画」に関する情報を読む ・よむことの意味を考える。 ・〇〇をよむ の〇〇に入る言葉をできるだけたくさん書き出す。 ・「鳥獣人物戯画」についての情報を読む。 （Web ページ・高山寺公式ページ・朝日新聞デジタル for school・新聞記事） ・得た情報をもとに「鳥獣人物戯画」について、キーワードを書き出し、三十字でまとめる。 ・ペアで情報を交換する。	iPa d Apple TV 電子黒板
2	印象に残った場面を伝え合う ・「鳥獣人物戯画」についての情報を共有する。 ・三十字での説明（定義したもの）を伝え合う。 ・iPad の「鳥獣戯画」をスクロールしながらよむ。 ・印象に残った場面について、マーキングをする。 ・ワークシートに、印象に残った場面を描く。 ・どうして心に残ったのかを書く。描いた場面をことばで説明する。 ・印象に残った場面、どうして心に残ったのかについて伝え合う。	iPa d Apple TV 電子黒板
3	絵巻物全体のイメージをつかむ ・『対訳 鳥獣戯画』の読み聞かせをする。 ・『対訳 鳥獣戯画』を聴いて、イメージした漢字とその理由を書く。 ・「鳥獣人物戯画」からイメージしたオノマトペを note Anytime を使い書きこむ。 ・書きこんだオノマトペから 10 選び、場面説明もあわせて書く。 ・一番ぴったりのオノマトペを伝え合う。	iPa d Apple TV 電子黒板
4	絵巻物の全体像をつかむ ・「鳥獣人物戯画」に関する情報 高畑勲『十二世紀のアニメーション—国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なもの—』（徳間書店）を読む。 ・「鳥獣人物戯画」の絵巻物を作る。 ・登場する動物をすべて書き出す。	iPa d Apple TV 電子黒板

	・気がついたことを伝え合う。 ・心ひかれた場面を着色する。 ・着色した場面に台詞をつける。	
5	絵巻物の世界を登場人物の視点から味わう ・うさぎ、さる、かえるのキャラクターについて考える。 ・グループで役割を分担し、うさぎ、さる、かえるのいずれかの視点から「鳥獣人物戯画」をよむ。 ・作品世界の中に自分をおき、登場人物とともに作品世界を生き、「鳥獣人物戯画」の世界を味わう。 ・グループで伝え合う。	iPad Apple TV 電子黒板
6 本 時	絵巻物と向き合い、自分なりの見方をもつ ・「鳥獣人物戯画」の見解がわかる冒頭部分について考察する。 ・よむことの多様性について考える。 ・自分なりの見方をもつ。	iPad Apple TV 電子黒板
7	絵巻物「鳥獣人物戯画」を評価する ・高畑勲氏の「鳥獣人物戯画」の読み方を知る。 ・絵巻の中にあるアップとルーズに着目してたどる。 ・高畑勲氏の読み方を参考にし、印象に残った場面について、評価する。 ・印象に残った場面について、表現を工夫して書く。 ・現代でも親しまれている理由を考える。 ・アニメの祖といわれているのはなぜかと考える。 ・アニメ的なキャラクター設定と連続している場面に注目する。	iPad Apple TV 電子黒板
8	現代版「鳥獣人物戯画」を創作する ・現代版「鳥獣人物戯画」を筆ペンで創作する。 ・うさぎ、さる、かえるのいずれかを選んで描く。 ・どういう場面か、わかりやすい解説を書く。	iPad Apple TV 電子黒板
9	自作の作品について伝え合う ・創作した 現代版「鳥獣人物戯画」について伝え合う。 (作品は校内で掲示をし、異学年交流)	iPad Apple TV 電子黒板

7 本時の学習

(1) 目 標

- 非連続型テキストの情報と主体的に向き合い、自分なりの見方をもつ。
- 機器を効果的に活用して対話し、ものの見方や考え方を深める。

(2) 展 開

	主な学習活動	I C T活用のポイント	使用機器 コンテンツ	評価の観点
導 入	○「鳥獣人物戯画」についての情報を確認する。 ○アナログとデジタルの違いについて考える。自作の「鳥獣人物戯画」とタブレット上の違いについての意見をもとに考える。	・朝日新聞デジタル for school で最新の情報をつかむ。 ・Apple TVにより、集約した意見を提示できる。	iPad 電子黒板 Apple TV	【関心・意欲・態度】 絵巻物に興味・関心をもち、主体的に情報と向き合おうとしている。

展 開	冒頭部を読み取る。 意見がわかれている部分について考える。 ○第1の部分 に吹き出しをつける。 ○つけた吹き出しについて発表する。 ○二つの説があることを紹介する。 A 「ここまでおいで」と、兎さん、「まってくれよお」と犬かきでがんばるお猿さん。 B 「この二ひきは、おぼれる兎とたすけにかけつける猿」 ○ AかB、どちらかの立場にたって、根拠を示しながら考えを伝え合う。 ○ 二匹の表情を読み取り、解釈する。読み取ったことや感じたことを表す表現や 見る場所や見る方法を表す表現についておさえておく。 ○第2の部分 A 岩の上で毛づくろいされる猿 B 岩にぶつくて、背中を怪我した猿 C 岩に座ってマッサージをうける猿について、A・B・Cそれぞれの立場に立って、考える。 ○A・B・Cのそれぞれの読みの立場にたち、根拠を示し、解説する。 ○学習を通して、感じたこと、思ったこと、考えたことを伝え合う。 ・解釈は人それぞれであることに気づかせる。	・ Apple TV により、注目する箇所を拡大して提示する。 ・ 書きこみ、マーキングができる。 ・ 二匹の猿の表情を拡大して提示する。 ・ 拡大縮小が自在にできる。	iPad 電子黒板 Apple TV iPad 電子黒板 Apple TV iPad 電子黒板 Apple TV	【関心・意欲・態度】 絵から読み取ったことを進んで伝え合おうとしている。 【話す・聞く能力】 自分なりの解釈を相手意識をもって説明している。 【話す・聞く能力】 機器を効果的に活用して、対話することができる。 【読む能力】 テキストの意味を考え、内容を読み解こうとしている。
	○資料を提示し、問いかける。 ○よむことの多様性について考える。	・ 写真を Apple TV により提示する。	iPad 電 子 黒 板 Apple TV	

参考文献

- ・『国語 六 創造』光村図書
- ・『新おはなし名画シリーズ 対訳 鳥獣戯画』監修 辻惟雄 著者 西村和子 博雅堂出版 2011 年
- ・『アニメのはじまり 鳥獣戯画』（週刊日本の美をめぐる）NO15 小学館ウイクリーブック
- ・『十二世紀のアニメーション—国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なもの—』高畑勲 徳間書店 1999 年
- ・『すぐわかる絵巻の見かた【改訂版】』監修 榊原悟 東京美術 2012 年
- ・世界遺産 梶尾山 高山寺 公式ホームページ <http://www.kosanji.com/>
- ・『自己認識としてのメディア・リテラシー 文化的アプローチによる国語科メディア学習プログラムの開発』松山雅子編著 教育出版 2005 年
- ・『自己認識としてのメディア・リテラシー 文化的アプローチによる国語科メディア学習プログラムの開発 PART II』松山雅子編著 教育出版 2008 年

單元「鳥獣人物戯画」をよむ

学習日 月 日

2年 組 番[]

☆「よむ」ということ

☆「鳥獣人物戯画」についての情報を読む

☆「鳥獣人物戯画」について三十字で説明する。

キーワード

[illegible]

☆「鳥獣人物戯画」について 印象に残った場面

どうして心に残ったのか

場面を説明してみよう

單元「鳥獣人物戯画」をよむ

2年 組 番[]

☆「鳥獸人物戯画」の絵巻物をつくって

デジタル と アナログ の違い

☆「鳥獣人物戯画」に登場する動物

☆ うさぎ・さる・かえる キャラクター

うさぎ

さる

かえる

單元「鳥獣人物戯画」をよむ

學習日 月 日

2年 組 番[]

☆「鳥獣人物戯画」を聴いて

イメージした漢字

その理由



☆「鳥獣人物戯画」からイメージしたオノマトペ[擬音語・擬声語・擬態語]

オノマトペ	場面 説明
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

一番ぴったりのオノマトペ

單元「鳥獸人物戯画」をよむ

學習日 月 日

2年 組 番[]

☆「鳥獣人物戯画」の世界を歩く



大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☒ まとめ
ICT 活用者	☐ 指導者 ☐ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☒ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☐ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☐ 自分の考えを表現する ☒ 学習の振り返り ☒ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	☐ 手本動画 ☐ カメラ機能（映像録画）
ICT 活用のポイント	☐ iPadを使用することで、手話に関心を持たせ、取り組みやすくする。 ☐ iPadで事前に各役割別の手本動画を撮影する。 ☐ iPadで動画の静止、プレイバックなどを行い、各自の必要な部分を再生し、反復練習をする。 ☐ iPadで相互撮影し、他者や自分の手話を確認することで、手話による表現や伝えることを学ぶ。 ☐ iPadを使って録画した他学年在籍の聴覚障がいのある生徒からのメッセージ動画を活用する。

第3学年 総合 学習指導案

授業者 増本 智子

1 学年・組 3 年 1 組

2 単 元 名 障がい者問題学習「バリアフリーを考える」

3 目 標

- 障がい者にとって暮らしやすい社会こそ、誰にとっても暮らしやすい社会であることを理解させる
- 主体的に学習に取り組む態度を培うため言語活動を取り入れ自分自身の意見をわかりやすく発表できる
- バリアフリーを実現させるため障がいのない者が障がいのある人にとって優しい環境とはどのような環境かを理解させる

4 単元の評価規準

よりよく問題解決をする資質や能力	主体的・創造的・協同的に取り組む態度	他者や社会との関わり	自己の生き方
バリアフリーの現状と問題点から障がい者を取り巻く環境に対して提言をするための自分にとって価値ある課題を設定している	盲導犬について学ぶことや手話の実践に積極的に取り組み、また他の生徒の意見を取り入るなど自分なりにバリアフリーに対する考えを持つことができる	障がいのある人を尊重し、社会がすべての人に住みよいものとなっているか自分なりに考察している	自らの生活や生き方を見直し、盲導犬や手話を必要なものと捉え、バリアフリーを実現している

5 指導計画（全6時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1・2	視聴覚教材「さよなら盲導犬ベルナ」を鑑賞し、障がい者にとってやさしい環境を理解する第一歩とする。	電子黒板 i P a d
3・4	手話講座（ゲストティーチャー） 挨拶や生徒の名前や劇のセリフを手掛かりに、基本や注意点を学ぶ。	電子黒板 ノートパソコン
5 （本時）	手話劇を通して学ぶ 親しみやすい童話を題材に手話を実践し表現や伝えることを学ぶ。障がい者の思いを知り、自分に何ができるかを考えさせる。	電子黒板 i P a d
6	バリアフリーを考える 第1・2時限の感想と前時で取り組んだ手話についての感想を生徒に発表させる。	電子黒板 i P a d

6 本時の学習

(1) 目 標

- 手話を実践し、手話による表現や伝えることを学ぶ。
- 障がい者の思いを知り、自分になにができるかを考える。

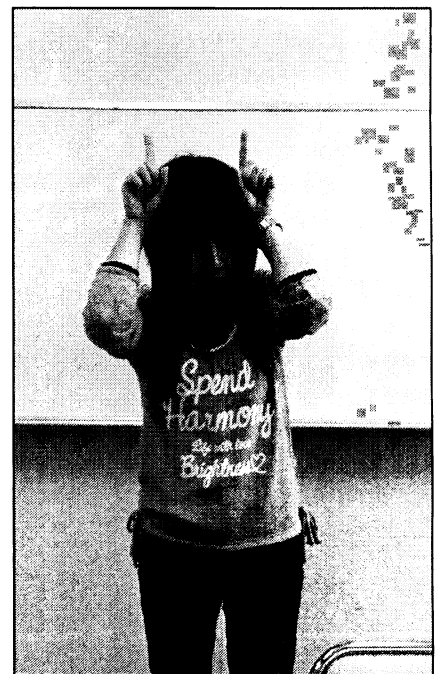
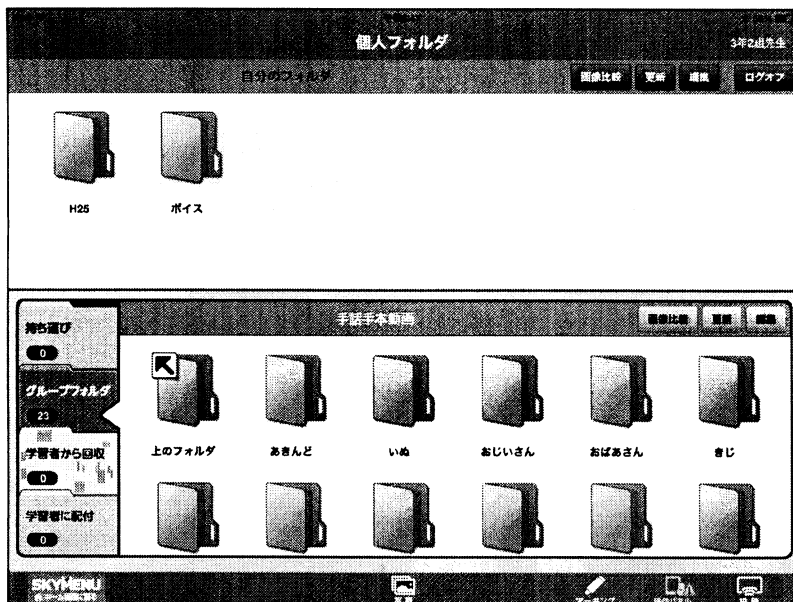
(2) 展 開

○は個人（各教室）、□は班（別教室含）での学習活動を表す。

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導入	○手話であいさつする。 ○講師数名に手話で自己紹介していただく。 ○前時で学習した手話のポイントを復習する。 ○代表となる手本動画を共有フォルダから、電子黒板に提示し一斉に練習する。	共有フォルダに保存してある各役毎の動画ファイルを使用する。	電子黒板 SKYMENU i P a d	【関心・意欲・態度】 手話に関心を持ち、意欲的に取り組めたか。

展 開	○各自が担当する役の動画を見ながら自分のパートの練習をする。講師数名が巡回支援する。 □班でお互いに自分の手話を見せ合いながら練習する。協力して班ごとに録画をする。引き続き、講師数名が巡回支援する。	- 自分の役の手本動画をヘッドセットにて視聴する。 - 各班毎に決められた手話劇を完成させるため、別室を利用し班ごとに録画する。	電子黒板 i P a d SKYMENU	【思考・判断・表現】 手話を実践し、協力できたか。
ま と め	○電子黒板に映し出された聴覚障がいのある2年生女子生徒からのメッセージを見る。 ○特別支援学級担任として「障がい」について理解すること、互いに支え合うことの大切さを理解させる。 ○手話で挨拶をする。	生徒のメッセージ動画を事前に準備しておく。	電子黒板 i P a d	【知識・理解】 身近な生徒からの体験や気持ちを聞くことにより、障がいについて理解を深めることができたか。

資料



大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☐ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☐ まとめ
I C T 活 用 者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☒ 自分の考えをまとめる ☐ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	☐ レポート（Keynote で作成） ☐ 意見の共有（Schoolology）
ICT 活用のポイント	☐ 前時で行った手話の働きについて Schoolology を使って自分の意見をまとめ他者の意見もふまえて手話の役割について考える。 ☐ iPad を活用し、自らの考えを発表し、電子黒板上におくった数人の意見をもとにみんなでバリアフリーの意味を考える。

第3学年 総合 学習指導案

授業者 西 真一

1 学年・組 3 年 2 組

2 単 元 名 障がい者問題学習「バリアフリーを考える」

3 目 標

- 障がい者にとって暮らしやすい社会こそ、誰にとっても暮らしやすい社会であることを理解させる
- 主体的に学習に取り組む態度を培うため言語活動を取り入れ自分自身の意見をわかりやすく発表できる
- バリアフリーを実現させるため障がいのない者が障がいのある人にとって優しい環境とはどのような環境かを理解させる

4 単元の評価規準

よりよく問題解決をする資質や能力	主体的・創造的・協同的に取り組む態度	他者や社会との関わり	自己の生き方
バリアフリーの現状と問題点から障がい者を取り巻く環境に対して提言をするための自分にとって価値ある課題を設定している	盲導犬について学ぶことや手話の実践に積極的に取り組み、また他の生徒の意見を取り入るなど自分なりにバリアフリーに対する考えを持つことができる	障がいのある人を尊重し、社会がすべての人に住みよいものとなっているか自分なりに考察している	自らの生活や生き方を見直し、盲導犬や手話を必要なものと捉え、バリアフリーを実現している

5 指導計画（全 6時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1・2	視聴覚教材「ベルナのしっぽ」を鑑賞し、障がい者にとって優しい環境を理解する一歩とする。	電子黒板 iPad
3/4	手話講座（ゲストティーチャー）挨拶や生徒の名前や劇にセリフを手掛かりに基本や注意点を学ぶ。	電子黒板 ノートパソコン
5	手話劇を通して学ぶ 親しみやすい童話を題材に手話を実践し表現や伝えることを学ぶ。障がい者の思いを知り、自分に何ができるのかを考えさせる。	電子黒板 iPad
6	バリアフリーを考える 第1・2時限の感想と前時で取り組んだ手話についての感想を生徒に発表させる。	電子黒板 iPad

6 本時の学習

(1) 目 標

- 「バリアフリーを考える」の単元を振り返ってこれまでの取り組みから感じたことを学級で発表し、自分の意見を持ち、障がい者にとって優しい環境について理解し、それに向けて行動する態度を養う。

(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○ 前回の授業で取り組んだ手話の実践を動画で見て、手話でコミュニケーションをとることの喜びを思い返す。	・前回、録画した手話の実践のようすを電子黒板で映し、学級で共有する。	電子黒板 iPad	【 思考・判断 】 手話の役割を理解する。
展 開	○ 「手話がなかったらどうなるか？」「誰のために手話を学ぶのか？」を Schoology を使って自分の意見を発表する。また他者の意見にに対して同調したり部分的には共感するものの異なる点があることなど自らの考えを他者との差異を明らかにするなど多様な意見を発表させる。 ○ 『ベルナのしっぽ』を観た感想を Keynote にまとめたもののうち、数人の生徒の意見を電子黒板に送り発表させる。	・Schoology を使用し生徒全員が議論に積極的に参加する。 Schoology で表明した自分の意見から他者の意見も取り入れ自分の意見をさらに深化させる。 ・Keynote で作成したレポートを電子黒板に送り自らの意見を発表し、他者の意見も取り入れ自分の意見をさらに深化させる。	Schoology 電子黒板 iPad Keynote	【 技 能 】 自分自身の言葉で他者にわかりやすく表現できているか。 【 関心・意欲・態度 】 他者の意見を尊重できているか。 【 思考・判断 】 他者の意見を自分の意見と対比することでより深い理解を得ることができたか？

まとめ	○盲導犬も手話も障がいを持つ人にとって便利なものであり、必要なものである。これらに対する認識を障がいを持たない者が大切にする意識がバリアフリーを実現させることになる。	・Keynote で作成した生徒に伝えたいことを電子黒板に映し、視覚的にも印象づけさせる。	電子黒板 iPad Keynote	【 思考・判断 】 障がいについて各自が理解し、さらにバリアフリーを大切なこととして認識する
-----	---	---	-------------------------	---

資料

Keynote で作成

レポート1
授業教材 「さよなら盲導犬ベルナを讀む」 感想

Q1 この授業を讀んで、どのようなことを学びましたか？

Q2 この授業中で主人公が盲導犬といると多い意見をたくさんしていました。何が問題だったのでしょうか？

Q3 主人公が盲導犬と行動を共にすることが多く感じました。なぜ感動するようになつたのでしょうか、そのきっかけは何でしょうか？

ICT 活用 のポイント

事前はこのレポートを見ておき、研究授業の前半で授業観測に当たつたものを呼び、選ばれた生徒は電子黒板に映し出し、説明を仰ぐ。授業教材を見た生徒全員の感想から効果的なものを呼び、実際のまじりとして評価（学級運営など）の指標で、自分にはなつた意見や期待する意見を学級全体として共有していく活動を ICT を使つて取り進めたい。

Schoolology で発表

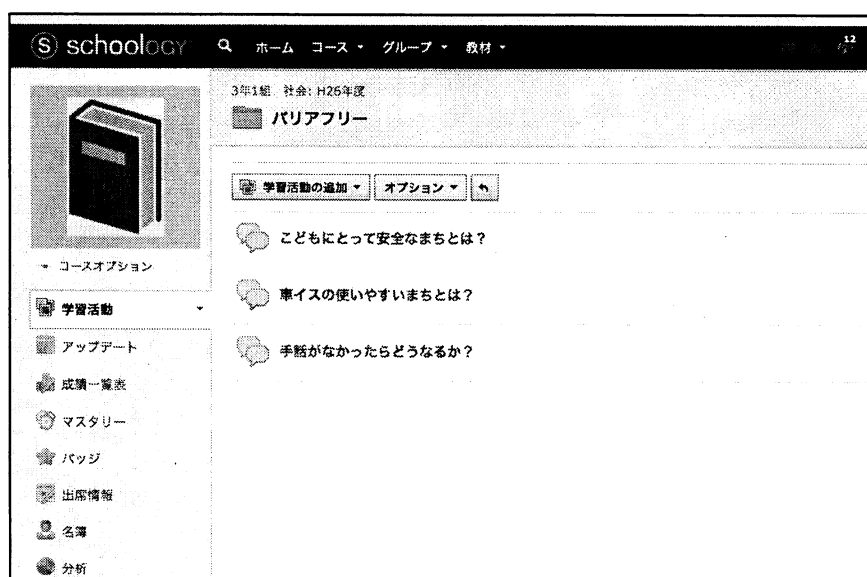
レポート2
「学級観を述べて」 感想

Q1 学級がなかったらどうなるのでしょうか？

Q2 歳のために学級を学ぶのでしょうか？

ICT 活用 のポイント

この問いを Schoolology を使つて、研究授業の冒頭で作成する。
授業中、自分が授業中に生徒の書き込みを見て、授業観測に選んだ意見を選択し、電子黒板に映し出し、発表させる。
意見発表に要する時間が短く、作成したレポートがすぐさま学級で活用できる
利便性をアピールしたい。



<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j712600>
[学校日記](#)

おおさかしりつしょうわちゅうがっこう
大阪市立昭和中学校

[サイト内検索](#)

[検索](#)

2014/02/10 10:14 更新

[トップページ](#)
[学校概要](#)
[配布文書](#)
[行事予定](#)
[学校日記](#)
[研究報告](#)
[昭中トリセツ](#)
[年間行事予定表](#)

現在位置: [トップページ](#) > [学校日記](#)

★ カテゴリ

● TOP

[お知らせ](#)
[新着情報](#)
[学校元氣アップ事業](#)

★ 最新の更新

[3年生私立高校入試](#)
[1・2年生実力テスト](#)
[立春](#)
[新入生保護者説明会](#)

[1年校外学習「アイススケート5」](#)
[1年校外学習「アイススケート4」](#)
[1年校外学習「アイススケート3」](#)

[2年「キャリア教育9」](#)
[2年「キャリア教育8」](#)
[2年「キャリア教育7」](#)
[2年「キャリア教育6」](#)
[2年「キャリア教育5」](#)
[2年「キャリア教育4」](#)
[2年「キャリア教育3」](#)
[2年「キャリア教育2」](#)

★ 過去の記事

[2月](#)
[1月](#)
[12月](#)
[11月](#)
[10月](#)
[9月](#)
[8月](#)
[7月](#)
[6月](#)
[5月](#)

[2013年度](#)

★ 3年生私立高校入試

3年生は、本日10日(一部は11日も)に大阪府の私立高校の入試があり、多くの生徒が朝から受験に出かけています。そのため、ひとつの教室はがらんとしています。全力を出しきって頑張っています。



【新着情報】 2014-02-10 10:14 up!

★ 1・2年生実力テスト

2月5日～7日、8日間の学年休業を終え、本日は1・2年生の実力テストを実施しました。今日も大変な冷え込みで、皆さんの体調が心配でしたが、大多数の生徒が登校してきました。まだ、治っていない人も若干います。早く完治して全員が元気になって欲しいです。明日は建国記念の日で学校は休みです。明後日は、延期になったマラソン大会前の移動があります。

〔1年生のテスト風景〕

〔2年生のテスト風景〕




【新着情報】 2014-02-10 10:13 up!

★ 立春

本日は立春です。先週から暖かい日が続いていましたが、今日からまた気温が下がりそうです。けれど、春は確実に近づいています。玄關の紅梅も咲き始めました。

昨日から、かぜ引き症状の生徒がふえていましたが、本日は1・2年生とも非常に欠席が多いので、別紙の通りの措置をとりました。ご家庭でもご協力をお願いします。

かぜ様疾患による学年休業について




【新着情報】 2014-02-04 12:51 up!

★ 新入生保護者説明会

2月3日、本校の新入生保護者説明会にあべの人がやってきました。受付で4月2日に入学する本校第70期生の保護者を出迎えました。説明会では、学校長のあいさつ、坂根教務主任より入学式までの準備について、西生徒指導主事より生活指導に関して、推薦事務職員より徴収金等について、教頭より給食等について話しました。昭和中学校教職員一同、新入生の入学を楽しみにしています。




★ アクセス統計

本日: 22 | 昨日: 141
今年度: 48876
総数: 88876

★ アクセシビリティ設定

文字: 大きく | 小さく | 標準
配色: 通常 | 白地 | 黒地

2014年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

★ 行事予定

[月間行事予定](#)
[年間行事予定](#)

★ 配布文書

[配布文書一覧](#)
[学校だより](#)
[1月号](#)
[学校評価アンケート](#)
[生活・保護者アンケート結果\(平成26年度\)](#)
[トリセツ](#)
[昭和中学校のトリセツ\(H23年度版\)](#)

★ 研究

[「生きる力」を育む教科授業をめざして](#)
[情報機器とネットワークを活用した道徳学習](#)
[学力向上に資する情報機器活用の方](#)
[ICT機器を活用した情報活用能力の育成](#)
[学校教育に1活用事業](#)
[研究発表会_資料2](#)
[研究発表会_資料1](#)
[非常災害時の対応について](#)
[非常災害時の対応について](#)
[平成25年度 学校評価](#)
[昭和中学校 25年度自己評価](#)
[全国学力・学習状況調査](#)

★ 平成25年度「全国学力・学習状況調査」における昭和中学校の結果の分析と今後の取組について

[平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート](#)

★ 携帯サイト

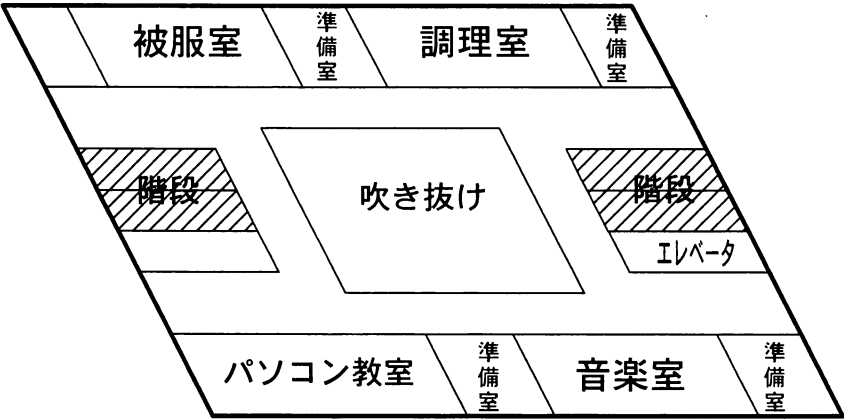


大阪市立昭和中学校のホームページ

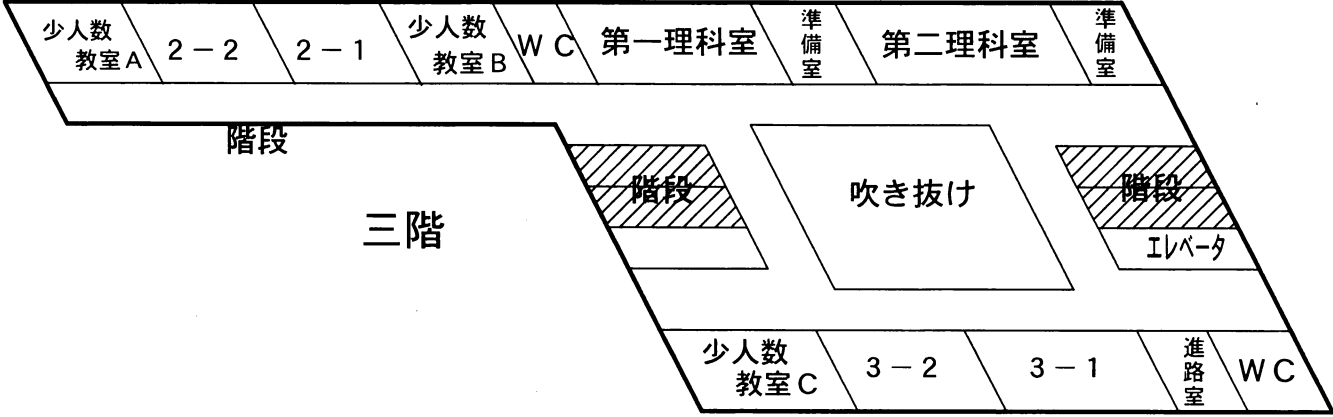
<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j712600>

校舎案内図

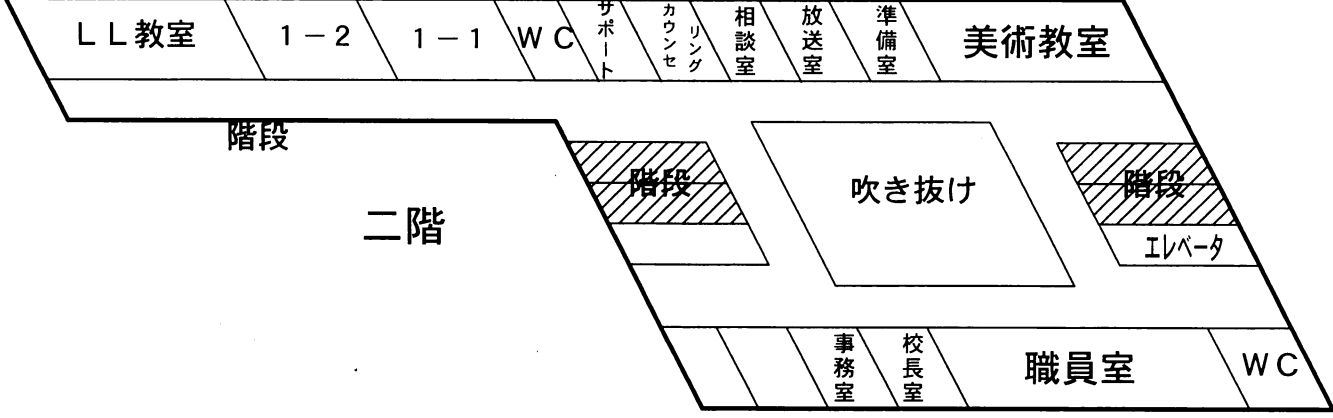
四階



三階



二階



一階

